



### 「第40回全国町並みゼミ 名古屋有松大会」がこの秋開催

竹田 嘉兵衛

夏の太陽が輝く真夏を迎え、皆様ますますお元気のこととお喜び申し上げます。

本年6月の有松祭りまつりでは、かつてなかった多数のお客様が国の保存地区である重伝建に選定された有松にお出掛けいただき、永い間お祭りを楽しんで滞在されました。

特に若い人たちが多数、ゆかたや新しい感覚のカジュアルな着物で参加され、今までとちがった祭り祭りの風景を作っていました。

今年の11月には全国町並み保存連盟の40周年記念大会が名古屋で、有松を中心として開催されます。これは日本でははじめて町並み保存の重要性をとらえ、昭和49年第1回の全国町並みゼミを開いた有松が40年に渡る頑張り努力の末、やっと重要伝統的建造物群保存地区に選定されたことを祝って、皆様から40回の記念大会を有松で開催することの御推薦をいただいたので、この地で開催することになりました。

大会は11月17日より19日まで有松と名古屋国際会議場で、町並みはわたしたちが守るみんなのものから40年をテーマとし、全国から5000人位の参加者を迎えて講演会やシンポジウムを行います。

有松では古い町並、伝統的工芸品産業の有松鳴海祭り、お祭りと山車、そして桶狭間の古戦場を題材とした分科会を開催し、有松を通じて日本の町づくりの方向性を探っていくというものです。

このシンポジウムに集う皆様の智慧を一同に集め、理想の故郷の町づくりはどの様なものかを考え、そしてそれを実現する具体的な方法は何かを見出し、可能なものから実行し夢を実現する為に目的に向かって皆で力を合わせていこうと考えています。

夏の間お祭りを楽しんで滞在されました。特に若い人たちが多数、ゆかたや新しい感覚のカジュアルな着物で参加され、今までとちがった祭り祭りの風景を作っていました。

### 思 おこせば：ちよと一年前、竹田嘉兵衛商店東側にお客様の駐車場を作ろうとしたところ、何とそこに私共の祖父・七代目竹田嘉兵衛の隠居所であった古屋が出現！名古屋市のアドバイスもあり、この建物を何とか残そうというはこびとなりました。

二間だけの小さな建物、さてどうしたものか？と皆様のご意見を聞くうち、せつかくの建物を有松のため、また竹田のお客様のために有用な活用をしようとしたわけですが、私共の店は有松の西町にあり、中心からは少し外れておりますので観光客もあまり足を運ばない地域にあります。広重の版画でも有名な場所なのですが、なにせ夜はほとんど人通りもなく「灯り」が欲しい…との要請にこたえ、73歳の無謀なる「カフェ計画」が出發いたしました。元氣と勇氣は十分すぎるほどあるのですが、計画実行には資金が必要、折しも名古屋市と国が始める新しい試みにのせて頂くことになりました。築五十年以上の建物を地域活性化のために使う事業に対し援助をしていただけるというタイムリーな制度。「なごや歴史の建造物保存活用」事業の助成第一号に認定されることとなりました。

が：その助成には条件が一つ、事業費の半分は一定期間中に自分でクラウドファンディングというネット上の寄付で集めること。志を持った事業にたいして見ず知らずの方々から五千元、一万円という規模で寄付をするという新しい募金システムなのですか？クラウドファンディング？というところから始まり、おろおろしながら一か月後、何とか目的額を達成しやつのことで名古屋市中から改修のお許しを得、いざ出発！

ところが改修が始まった途端 茶室の床の間の畳裏から「弘化三年」（1846年）という墨書



居心地のいい空間に仕上がりました



このカフェは、有松と絞りの開祖である竹田庄九郎家建物の遺構で、有松の隣町の大高町の「春江院」の書院として移築された庄九郎家座敷「申申居」の一部であることがわかり、茶室としても使えるよう考えております。せつかくの由緒ある建物なので、訪れる方々にその「庄九郎」翁の名前を思い出していたらと、カフェ「庄九郎」と名付けさせて頂きました。

小さな空間ですが、ここから有松絞りの情報を発信出来たらと考え、竹田耕三の蔵書や作品を備えております。有松でほっと一息ゆっくり美味なひと時をお過ごし下さいませ。

◆ライブ러리カフェ&バル「庄九郎」  
TEL (052) 62712055 (月曜定休)



### 社長挨拶

社長就任より早半年、  
今後とも指導ご鞭撻のほど  
宜しくお願い申し上げます。

竹田 宗弘

# 笹加だより

編集・発行  
株式会社 笹加  
編集委員会

名古屋市緑区有松1802番地  
TEL.052(623)3338  
http://sasaka.co.jp/

2017年  
夏号

毎日暑い日が続きますが、皆さまお元気でいらつしやいますでしょうか。暑さの中にも海や山、お盆、旅行など夏は楽しいことも一杯の季節です。あちらこちらで花火大会も開催されますので、絞りの浴衣などお召しになって優雅に過ごして頂きたいと存じます。

私も、本年1月より弊社の社長に就任させて頂きましたが、まだ正直なところ「自分は社長だ！」と胸を張って言える実感がなく、私自身会長に就任した父の事を「社長！」と呼んでしまったり、取引先の方々や社員、身内もまだ慣れておらず、会長と社長を間違えう事があり、会長の父との区別がややこしいので、社内では社長の前に私の名前の「宗弘」をつけ「宗弘社長」と呼ばれることで現在落ち着いております。

私も社長になり、今まで行っていた仕事に加え社長の仕事が増えて参りました。経営、財務の仕事の他に例えば「社長、投資にご興味がございますか？」とか「あなたに経営指導します！」とか「御社にリース機器は必要ないですか？」などの営業電話の対応、また取引先、観光のお客様がおみえになった時の社長挨拶等々です。そして町の方からも「宗弘君も社長になったことだし、町のほうでも今後の重鎮として活躍してもらいたい」との事で、絞り組合の理事就任の依頼、神社の講の会の副総代、まちづくりの会のメンバー就任など次々依頼が舞い込んでいる次第です。

社長の仕事は際限がないと思いつつ、1月より日々仕事に追われるばかりで、気付いたら半年が過ぎ、自分の体が2つあったらいいなあと夢想到にふける今日この頃…。まだまだ自分自身役職に見合う実力、見識がございませんが、早く立派な社長になれるよう精一杯頑張っておりますので、今後変わらぬご指導・ご鞭撻・ご厚情を頂きたいと思っております。ふつつかな社長ですが、皆さま今後共宜しくお願い致します。



第33回 有松 絞りまつり  
竹田 昌弘

### “What's 重伝建”をテーマに、9万人の来場者が訪れた2日間

6月3・4日の両日、「第33回有松祭りまつり」が今年も開催されました。今年の祭りまつりは「What's 重伝建」がテーマ。昨年7月、重伝建に選定されたばかりの有松の街並みを、2日間で約9万人の観光客が過ごしやすいうれしい陽気の中、お祭りを楽しんでいました。

私は毎年ゆかた売り場担当なので、なかなか外に出て見て回ることができませんが、それでも賑わいは通りを見て感じました。売り場には毎年来てくださるお客様や、最近テレビなどで有松を見て初めて来たという方もおられ、有松も益々認知されてきたと感じます。年に一度、一番有松が人で埋まる2日間、この人通りが毎日あってくれると、大変ですが賑やかでいいなと思っております。

有松鳴海祭り会館のメインステージも大変盛り上がり、ゲストの中で、地元愛知出身の若手演歌歌手、別府たけしさんが、有松をテーマにした歌や詩吟を披露してくれました。その中で、先代の竹田嘉兵衛（私の祖父）が作詞した『有松慕情』も歌って頂き、観客の皆さまから歓声と拍手がわき起こっていました。更にゆかたまで読んで頂き大変感謝、地元を愛する演歌歌手の別府さんが紅白出場できるように、みなさん応援してあげてください。

また今年は、例年よりも着物（ゆかた含め）を着てる方を多く見かけました。若い方も多く、着物が見直されてきているのだと実感いたしました。皆さまに着て頂けるよう、これから来年に向けて商品を作りますので、よろしくお願ひいたします。

祭りまつりにまだ来たことが無い方、来年は是非遊びにいらしてください。



# 「伝統工芸」と「先端技術」の融合

## メーテレ「メイキングエスト」収録にて「ハッカソン」を体験

営業部 竹田 昌弘



素材、技術提供する企業は数十社あり、弊社も素材提供側として参加させてもらいました。何を提供したかという点、皆さんご存知の「ポケッティ」と、シルクオーガージーの生地です。これらが何に生まれ変わるのかすごく楽しみでした。誌面には書けません、何が出来たか知りたい方はネットなどでチェックしてみてください。

普段、ロケや取材は度々していただけることが多いですが、こういったバラエティ番組は初です。今年メーテレが開局55周年ということもあり、全社を挙げて取り組んでいる感じが伝わってきました。色々楽しかったのですが、ここに書き切れないので、興味ある方はお声掛けください。

伝統工芸側は弊社他には、名古屋黒紋付染の山勝染工、美濃和紙の家田紙工、岐阜提灯の尾関、大垣柁の大橋量器、伊賀組紐の松島組紐店でした。山勝染工さんは普段から交流ありますが、他のメーカーの皆さんと交流できたことは、これからのモノづくりにおいて貴重な経験となりました。



有名タレントさんも多く出演、賑やかな収録風景

# 額縁展が開催、絞りの新しい取り組みで3日間、大盛況のうちに幕を閉じました。

営業部 羽田野 孝行

笹加では、5月7日から9日に額縁展を行いました。全国の問屋さんや小売店に向けて行う新作発表会の前に皆様にご発表する展示会で、今年で9回目になり大盛況で終えることが出来ました。私は、常に新しい柄を、新しい色は：と考えていて職業病のようになっていますが、この発表会の前になると「売れなかつたらどうしよう」と考えて、胃が痛くなります。



ファン・ゴッホ「ひまわり」/日比勝治製作

今年は、染色部門・伝統工芸士の日比勝治氏により、絞りの点描画を発表しました。鹿の子絞り生地に一粒ずつ色を挿していく技法で、大きな絵になると五万粒も色を入れていくので、気の遠くなるほどの時間と根気、集中力が必要となります。今回は、ゴッホ、ルノワール、モネなどの名画を絞りの点描で表現しましたが、今後はこの技術を振袖、訪問着、着尺にも応用していこうと思っています。こうして職人さんの知恵と努力をお借りし、毎年新しいものを作っております。

絞りは、いくつもの工程を経て何か月もかかって出来上がります。図案・型彫り・絵付け・絞り・染色・ほどき・ゆのし・検品という工程があり、それぞれに専門の職人がいます。職人さんが高齢になってしまい、出来なくなつた絞りもありますが、最近では若い職人さんも出てきており、ベテラン職人の経験と若手職人の新しい考え方で、今までにないものが作れないかと常に模索しています。負けじと私も、来年の額縁展に向けて新しいものを考えておりますので、是非楽しみにしてください。

笹加大阪です

## 「西陣の色世界」と「桜の京都」を訪ねて

大阪店 岸野 芳一

京都は四季を通じて様々な情緒で私たちを迎えてくれます。今回は桜の時期に合わせて4月にお客様をお誘いいたしました。北山方面をめぐる春の京都ツアーです。まずは足利尊氏ゆかりの等持院にほど近い「桜谷文庫」へ。ここは日本画家・木島櫻谷の遺作や、櫻谷が収集した絵画や書など1万点以上を収蔵する施設として昭和15年に設立され、平成19年に国登録の有形文化財に、今年京都市指定の有形文化財に指定されました。独特の色使いを以て表現された情景は観る者の心に安らぎを与えてくれる画風でした。

その後、桜を求めて妙心寺退蔵院へ。樹齢50年の「紅しだれ桜」は、以前にJR東海のキャンペーンにも使用され、春の京都の観光スポットにもなっています。記念撮影で一気に盛り上がりました。

桜を愛でた後は、京都が誇るこだわりフランス料理のお店「ポルドー」で昼のお食事です。常連のお客様を大切にするため「ミシユラン」掲載を頑なに拒み続ける姿勢は変わらず。今回も笹加のお客様が心より「食」を楽しんでおられる様子に、私たちも感激いたしました。お腹が満足した後は心と目の満足を：西陣の織元「織匠大庭」へ。創業は戦後間もないころ。お店に並べて見せて下さった色とりどりの糸は「諸糸」、「葛籠糸」と呼



退蔵院の紅しだれ桜は見頃を迎えていました

ばれ、帯の柄や用途によって使い分けられます。また、鮮やかな色彩の中に力と艶を秘めた趣は、他の追随を許さない独自の「大庭ワールド」を創り上げておられます。縮めくりはスイーツ。創業天保二年の歴史をもつ「長久堂」(北山)へ向かいます。明治初年にはパリ万国博覧会に出展し受賞。皇室のお買い上げもあつた京都でも有名なお店です。笹加はお客様の満足を第一に、これからも【見・聞・食】を追及して参ります。



名門・大庭様の色彩豊かな糸。圧巻の一言につきます

## 東京展示会 復活開催に思う...

営業部 浦田 雅芳

た。長年、笹加東京店を愛し、応援してくださいました皆様にはとても悲しい思いをさせてしまい、大変申し訳なく思います。

しかしながら、閉店後も皆様からの笹加展示会中止を惜しむ声がたくさん届いており、我々自身も長年続けてきた笹加展示会だけでももう一度開催することはできないものかと奔走致しました。また、本年は新社長就任という記念すべき年で、新社長自身が笹加東京開催に強い思いを持っておりましたので、開催に

**2017年 下半期 笹加スケジュール**  
ご参加、お待ちしております!

7月	21日(金)~24日(月)	夏の特別展 (名古屋)
	[博多織・江戸小紋 女性の手仕事展 & 宝飾・匠ジュエリー展]	
	26日(水)	古謝美佐子 琉球ライブ (名古屋)
8月	25日(金)~27日(日)	振袖・祝着展 (名古屋)
	8日(金)~10日(日)	東京展 (東京)
9月	15日(金)~18日(月)	特別展 (名古屋)
	29日(金)~10月1日(日)	秋展 (大阪)
10月	12日(木)~18日(水)	秋展 (名古屋)
	17日(金)~19日(日)	全国町並みシンポジウム (名古屋)
11月	23日(木)~26日(日)	特別展 (名古屋)

※全て予定です。日程等、変更になる場合がございます。

関する問題が多少ありましたが、なんとか3月31日から4月2日まで『新社長就任&笹加新たな船出』と銘打って、銀座・紙バルブ会館にて展示会を開催することができました。久しぶりの開催ですので、多少の不安はありましたが会場にはたくさんのお客様にご来場いただきました。心より感謝申し上げます。皆様の元気なお顔を拝見でき、とても嬉しい気持ちになりました。メンバーも変わり、今後は今までの笹加東京が築き上げてきたものにも一つ、新しい力より魅力的な展示会を作り上げていく所存でございます。品揃えは勿論の事、きもの楽しさを感じられるような企画を考えていきたいと思っております。

また、関東地区の皆様に対しては今後名古屋からのフォローとなり、まだ我々メンバーの顔を知らない方も多く、ご迷惑をおかけすることがあるかと思っております。しかしながら、それ以上の喜びを皆様にお届けできるよう頑張りますので、どうぞご支援の程宜しくお願ひ申し上げます。次回は9月8日(金)午後一時より、10日(日)に銀座紙バルブ会館二階フェニックスプラザにて開催を予定しております。是非、お出掛け下さい。皆様にお会いできることを心より楽しみにしております。